

【島のくらしの情報】

出羽島(牟岐町)

① 仕事(収入)の状況	<p>島内の就業者の多くが漁業に従事していますが、高齢化や担い手の減少・漁価の低迷により、漁獲高は減少し、漁師20人ほどで3,000万程度の漁獲高となっています。</p> <p>島では漁業の担い手になってくれる方を希望しています。 その他、本土で就業している就業者もいます。</p>
② 住居の状況 (貸家, 空き家など)	<p>空き家が多くありますが、賃貸については個別の相談となります。 改修は必要と思われます。</p>
③ 医療環境の状況	<ul style="list-style-type: none">・医療施設としては、平成3年3月に県立診療所が完成し、週3回県立海部病院より医師が出張診療しています。・救急患者については、昼であれば整備されたヘリポート、夜間であれば住民の相互協力により漁船等で本土へ搬送しています。
④ 福祉環境の状況	<p>牟岐町が民間事業者との連携のもと、保健師やホームヘルパー等による訪問活動をはじめ、平成11年に開設した「保健福祉センター」においてデイサービスを実施し、高齢者への支援を行っています。</p>
⑤ 教育環境の状況	<ul style="list-style-type: none">・平成21年に出羽小学校が廃校になり、体育館は集会所として、運動場はヘリポートとしての機能を有しています。・島内に小・中・高校生はいません。
⑥ 上下水道・電気・ガスの状況	<ul style="list-style-type: none">・水道については、水源を本土内妻川に求めた簡易水道が整備され、海底送水によって安定的に供給されています。・し尿については、島内に浄化槽設置世帯はなく、定期的に車両で収集し、し尿運搬船により本土へ搬送しています。・電気については、海底ケーブルが敷設され、電力普及率は100%となっています。

<p>⑦ 本土との交通手段 (費用, 時間, 便数など)</p>	<p>【航路】連絡船 出羽島漁港と牟岐漁港の間, 4kmを大生丸(おいけまる。平成6年建造。FRP船17トン。定員70人)が1日6往復, 片道15分を220円(ただし, 8月1日~9月30日までは230円)で運行しています。 (本土牟岐港, 出羽島連絡船乗り場の最寄り駅はJR牟岐線・牟岐駅。同駅から徒歩8分)</p>
<p>⑧ 島内の交通手段 (費用, 便数など)</p>	<p>【島内交通】徒歩 狭い平地に集落が密集しており, 道路の幅員が狭いため, 島内の交通手段は自転車や手押し車等に限定され, 自動車はし尿収集車両が1台あるのみです。</p>
<p>⑨ 買い物場所・物価の状況</p>	<p>【買い物場所】 島内に日用品を扱う商店が2店舗あります。 その他の買い物については, 本土の駅前で購入する島民が多いです。 本土で車を所有している島民もいます。</p>
<p>⑩ これまでの移住実績</p>	<p>直近2年間で3世帯5人(H26年度:1世帯3人、H27年度:2世帯2人)の方が移住されました。</p>
<p>⑪ 移住を希望される方の短期滞在, 下見に対する支援の状況</p>	<p>8月に空き家を改修した交流施設「波止の家」が完成し, 集会所等として使用されている。 その他ご質問は, 出羽島ホームページ(URL http://tebajima.jp/)からお問い合わせください。</p>
<p>⑫ 移住にあたっての支援の状況</p>	<p>特になし</p>
<p>⑬ そのほか島での暮らしについて伝えておくべき必要な情報</p>	<p>○防災ヘリポート 南海トラフ巨大地震に備え, 廃校となった出羽小学校の校舎跡に防災ヘリポートが整備されています。災害時には負傷者搬送や避難場所として活用されます。</p> <p>○島の地域活動 島には道の草刈りや伝統行事などがあります。こういった活動に参加し, 島にとけ込んでくれる方を望んでいます。</p> <p>○重要伝統的建造物群保存地区の指定を見据えた取組をしています。</p>